

がん研究会有明病院、宮城県立がんセンター、獨協大学、順天堂大学、
兵庫県立がんセンター、久留米大学医学部、京都府立医科大学医学部、金沢大学医学部、
飯塚病院、聖マリアンナ医科大学、横浜労災病院、亀田総合病院、東京都済生会中央病
院、旭川医科大学、KKR 札幌医療センター、日本医科大学、アドベンチストメディカルセ
ンター、琉球大学を受診されたがん患者の方で外科的手術を受けられた患者様へ

創薬標的プロテオミクスプロジェクトでは、がん研究会において分子プロファイリングによる薬剤抵抗性機構の解明を目的として計画された下記研究課題に共同研究機関として参画いたします。

本研究では、がん研究会有明病院、宮城県立がんセンター、獨協大学、順天堂大学、兵庫県立がんセンター、久留米大学医学部、京都府立医科大学医学部、金沢大学医学部、飯塚病院、聖マリアンナ医科大学、横浜労災病院、亀田総合病院、東京都済生会中央病院、旭川医科大学、KKR 札幌医療センター、日本医科大学、アドベンチストメディカルセンター、琉球大学を受診したがん患者の方で、外科的手術を施行された患者様の試料・情報を、使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下のお問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供をしてほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

分子プロファイリングによる薬剤抵抗性機構の研究

研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

研究代表者

藤田直也：がん研究会がん化学療法センター 所長

本研究の目的

がん分子標的療法薬や、免疫系に働きかける薬が新たながん治療法として高い有効性を示すということが次々と判明してきていますが、効きやすい方と効きにくい方がいらっしゃるということや、当初効果があっても一定時間が経つと効果が減退してしまうこと（薬剤耐性）も分かってきています。この研究は、がん細胞の治療薬感受性・抵抗性を規定する因子を明らかにし、さらにがん細胞がどのようにして治療薬への耐性を獲得するのかについて解析して、それらを克服するための治療法を探索し、より効果的な新しい治療法を開発することを目的としています。

研究期間

この研究課題の研究期間は2018年倫理委員会承認後から2027年3月31日までです。

研究の方法

【研究対象者】

2013年11月～2027年3月31日までにがん研究会有明病院、宮城県立がんセンター、獨協大学、順天堂大学、兵庫県立がんセンター、久留米大学医学部、京都府立医科大学医学部、金沢大学医学部、飯塚病院、聖マリアンナ医科大学、横浜労災病院、亀田総合病院、東京都済生会中央病院、旭川医科大学、KKR札幌医療センター、日本医科大学、アドベンチストメディカルセンター、琉球大学を受診したがん患者様で、外科的手術を受けた方、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤等の治療薬が投与された（またはその可能性のある）方

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

試料：胸水や腹水等の体腔液、生検検体、手術等により切除された組織検体、末梢血

情報：年齢、性別、身長、体重、ステージ、組織型、KRASやEGFRなどのがん関連遺伝子異常、前治療の種類や用量、腫瘍マーカーや血算など、治療経過、転移の有無、転移・再発部位、再発確認日、等

【研究方法の概要】

医薬基盤・健康・栄養研究所において、各検体からタンパク質を抽出し、質量分析計を使って治療抵抗性の原因となる分子や新たな治療標的となりうるタンパク質を探索します。遺伝子解析は実施しません。

試料・情報の提供について

試料は宅急便で、がん研究会から医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。臨床情報はパスワード付きのメールでがん研究会から医薬基盤・健康・栄養研究所に送付されます。

個人情報の取り扱い

個人情報は各研究協力病院で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

お問い合わせ先

公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 所長 藤田直也

〒135-8550 東京都江東区3-8-31

電話：03-3520-0111

医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

足立 淳

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

電話：072-641-9862